

## 目 次

I. 総括研究報告	
地域における健康危機管理におけるボランティア等による支援体制に関する研究	1
尾島俊之（浜松医科大学健康社会医学）	
（資料 I-1）ボランティア活動に関する全国調査報告	5
（資料 I-2）「平成20年8月末豪雨」現地調査報告	23
II. 分担研究報告	
1. 原子力災害時のボランティア活動の課題と効果的な活動方策の検討	29
早坂信哉（浜松医科大学健康社会医学）	
2. 災害を念頭においた平常時及び危機時のボランティア支援の具体的方法	36
岩室紳也（地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター）	
2-2. 市町村保健師活動と防災対策との関係性について	39
石川貴美子（秦野市福祉部高齢介護課）	
3. 災害ボランティアの安全衛生、ボランティア向け教育教材の開発	42
洙田 靖夫（川崎重工業株式会社播磨工場健康推進センター）	
3-2. 災害ボランティア活動における安全衛生実態調査	44
岡野谷 純（特定非営利活動法人日本ファーストエイドソサエティ）	
3-3. 災害ボランティア向け安全衛生小冊子の有効性に関する研究	52
岡野谷 純（特定非営利活動法人日本ファーストエイドソサエティ）	
4. ゲーミングシミュレーションを利用した啓発ツールの開発	58
堀口逸子（順天堂大学医学部公衆衛生学）	
5. 地区組織の健康危機対応支援ツールの開発	60
鳩野洋子（九州大学大学院医学研究院保健学部門）	
6. 地震発生時の人的ネットワークにおけるボランティアの役割と教育	68
三輪真知子（静岡県立大学看護学部）	
6-2. 難病患者の災害準備に関する研究	75
今福恵子（静岡県立大学短期大学部）	
7. 新潟県中越沖地震における町内会の活動に関する研究	82
原岡智子（浜松医科大学健康社会医学）	
（資料 II-7-1）新潟県中越沖地震における町内会の活動に関するアンケート調査報告	84
III. 研究成果の刊行	93
（資料 III-1～III-4）研究成果の刊行物・別刷	94